



# 桂台地域 ケアフラザニュース 9月号

通算197号 令和4年9月発行 発行責任者:勝呂 朋子

## ○デイサービスから○

新型コロナウイルス感染症について、全国的に新規感染者が増えており、桂台デイサービスでも8月に入り、検査にて陽性の診断を受けた方が数名出ている状況です。

毎年、9月にデイサービス敬老会を開催しておりますが、感染者も増えている状況から、9月の開催は難しいと判断しました。そのため、11月もしくは令和5年2月に延期させていただきます。楽しみにされていた方には大変申し訳ございませんが、ご理解いただけますと幸いです。今後も感染予防対策行いながら、デイサービスの営業を継続し、安心してご利用頂けるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## ○ナースだより○

### 《小さな傷にご用心～蜂窩織炎》



小さなひっかき傷や虫刺され等は、日常誰もが経験する皮膚の些細な症状と言えます。特に気にせず治ってしまう事がほとんどですが、場合によっては蜂窩織炎という大きな病気に進行してしまう事もありますので、心に留めておいてくださるとよいかと思います。今回掲載させて頂きました。



### 蜂窩織炎は

皮膚の傷から皮下の脂肪組織などに細菌が侵入することによって引き起こされる病気です。浸入した細菌は皮下でどんどん炎症を広げていき、炎症を起こした部位が、痛みや熱感を伴って赤く腫れ上がり、徐々に範囲が広がっていきます。

炎症が強くなると、発熱や悪寒、倦怠感といった全身症状を引き起こすこともあり、中には敗血症などに移行して命に関わるようなケースもあります。

蜂窩織炎は、非常に特徴的な症状がみられるため、医師の視診、触診で診断されることがほとんどです。

### 治療は

抗菌薬による薬物療法が、飲み薬が点滴で行われます。重症化すると、皮膚の下に膿の塊が形成されることがあり、このようなケースでは、皮膚の一部を切開して膿を排出させる“切開ドレナージ術”を行わなければなりません。入院治療となるケースも多いです。

蜂窩織炎は、足のすねや甲によく発生しますが、他の部分に起こることも多いです。ひっかき傷や虫刺され、やけどなど非常に小さな傷口、水虫や過度な乾燥肌など皮膚のバリア機能が低下するような皮膚の病変部分からの細菌の侵入により引き起こされます。

また、細菌の侵入門戸が分からない場合も多くあります。

糖尿病の方や免疫を低下させる作用のある薬を飲んでいる方は、重症化しやすいといえます。



● 予防としては、皮膚のバリア機能を維持して細菌の侵入を防ぐことが重要です。皮膚の清潔を保ち保湿を徹底し、何らかの皮膚の病気がある時は、出来るだけ早く治療を受けるようにしましょう。

